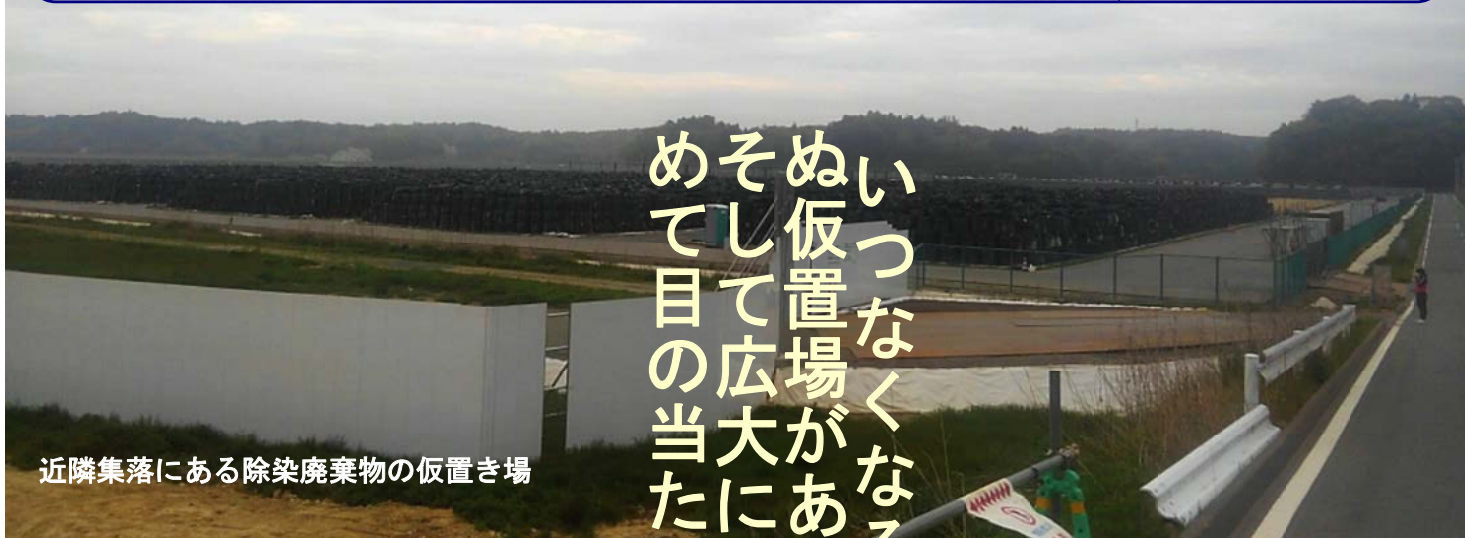


# 福島原発事故 避難者裁判を支える会・えひめ ニュース

No.9

2017年9月1日  
〒790-0852  
松山市石手2丁目9-21  
TEL089-977-8155



近隣集落にある除染廃棄物の仮置き場

いっなくなるともわからぬ仮置場があまり近くにたまたま近づくたびに拡大した。様を改めて見ての当たりにした。



モニタリングポスト表示付近で測定



福島県南相馬市から伊予市へ避難している渡部寛志さん（裁判原告）が今年5月6日に自宅へ帰った時、娘さんと一緒に放射線量を測定したときの模様です。

### \* 測定して改めてわかった事は、

- ・山林以外は除染済みの箇所であったが、放射線量は地域内で一様ではない。
- ・モニタリングポストと建物の直近は、比較的線量は下がった。
- ・しかし、雨どい直下や屋根の下等の雨水が流れ込む地点や、枯れ草落ち葉 等堆積物が堆積している箇所は1  $\mu$  Sv/hを超える箇所が容易に見つかる。

### \* 個人的感想

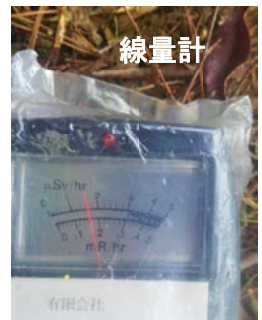
0.23  $\mu$  Sv/hで年間1ミリシーベルトになるとの計算式に照らし合わせて考えれば、とても微妙な地域である事がわかった。また、いつなくなるともわからぬ仮置場があまりに近く、そして拡大にたまたま近づくたびに拡大した。

帰還を『どの基準・段階で、いつするか』をずっと悩んできたが、さらに悩みは深まった。土に触れさせず、山林に入れず、川で遊ばせずなどなど、行動制限を子ども達に強いれば、帰れない事はないかもしれない。しかしそれでよいのだろうか？子ども達、子孫たち、地域の将来のために、正しい道とは何なのか。私にはわかりません。

9月5日の法廷では、渡部寛志さん本人が、被害状況をまとめた準備書面を読み上げます。ぜひ、傍聴席でお聞き下さい。



測定中



線量計

## 第12回口頭弁論日程

日時 9月5日(火)  
14:30開廷

場所 松山地方裁判所

※14時前までには地裁ロビーにお集まりください。裁判終了後、愛媛弁護士会館で報告集会を行います。

(松山市三番町4丁目8-8)

# 東北・四国 心行き交う

# 盆踊り大会



【報告】 NPO法人えひめ311



「NPO法人えひめ311」と「盆踊り交流会実行委員会（実行委員長 加藤住職）」では、8月26日に石手寺にて「東北・四国 心行き交う盆踊り大会 ～追悼と復興を祈る盆踊り大会～」を開催しました。

この盆踊り大会は、四国ではほとんど触れることのない東北の伝統芸能・文化を通じ、避難元と避難先、避難者同士の「心」をつなぎ、東日本と四国のつながりを支える機会を作るとの目的で開催しました。

今年の盆踊りでは昨年に引き続きひばりの連の方々をお呼びしたり、東北がルーツとされる愛媛の郷土芸能「鹿踊り」を西予市の踊り手さんらをお呼びして披露してもらいました。また今回は愛媛に避難している福島の人たちで相馬盆歌の歌や太鼓などを練習して披露するなど、去年とはまた違った盆踊りとなりました。土砂降りだった雨も午後には上がり、一般参加者、避難者、スタッフなどを含め約150名の参加で、無事に盆踊り大会を成功させることができました。

東北の芸能のほか、餅まきのイベントや出店も賑わっており、「お好み焼き」や「ライスバーガー」、「しいたけステーキ」、「綿菓子」「ポップコーン」、「整体」や「スマートボール」など様々な屋台が並びました。



## = 原発と米軍基地問題を考えよう =

### 書籍「人の痛み この震災を転換点に」



販売継続中

配布中

### 入会お誘いリーフ



必要な方はご連絡ください。

## 福島と沖縄のお話を聞く会



「支える会」も協力団体として企画運営に関わりました。

原発事故から6年を経た福島と避難者、米軍基地建設に反対して闘う沖縄の現状を知り、ともに考えようという集会が開かれました。

7月18日、石手寺で開かれた集会に約70人が参加し、鎌田隆さん（沖縄国際大学名誉教授）、後藤勝彦さん（福島県9条の会）、渡部寛志さん（避難者）のお話と、橋梁盟さんの尺八演奏を聞きました。後藤さんは、原発事故被害の完全賠償を求める闘いで「因果関係がわからないので補償対象にならない」という国や東電の論理に、地道な線量調査でデータを蓄積して対抗する運動を紹介し「あきらめない」を合言葉に頑張っていると話されました。

「支える会」会費納入・カンパをお願いします！

年会費1,000円

振込先) ゆうちよ銀行 口座記号番号16100-25698151 口座名義

福島原発事故避難者裁判を支える会・えひめ